

おいしい！たのしい！さがみはら！

180店舗が集積する「bono 相模大野」いよいよ3月15日（金）まちびらき！！

「bono 相模大野」は、約180店舗からなる大型商業施設(野村不動産株式会社が開発・運営する「Shopping Center(ショッピングセンター)」90店舗と「North Mall(ノースモール)」「South Mall(サウスモール)」約90店舗、バスポートセンター／市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」／(財)ヘルス・サイエンス・センター等の公共施設、市営駐車場、市営駐輪場、分譲住宅「プラウドタワー相模大野」(308戸)賃貸住宅「スカイフラッツ」(120戸)、などからなる大型複合施設です。

また、イベントの開催や人が集い憩える「ポーノ広場」や、大屋根が象徴的なメイン通路「ポーノウォーク」、飲食店街「ポーノ横丁」、ショッピングセンター屋上の庭園空間「Saga-niwa さがにわ」など、多彩な施設を備えています。

相模大野の新たなランドマークとして、既存の駅ビル(小田急相模大野ステーションスクエア)・伊勢丹相模原店とともに駅周辺の3つの核の1つを担います。3月15日～17日は「ポーノ広場」で賑やかなオープニングイベントが行われ、16

さがみはらが詰まったアンテナショップ「sagamix」

近年、アンテナショップを特集した書籍が発行されるなど、各地で賑わうアンテナショップですが、bono 相模大野(Shopping Center 2F)にも地元や相模原にゆかりのある食材など約500種を扱うさがみはらアンテナショップ「sagamix(さがみつくす)」が誕生します。

カフェスペースでは、sagamixのために開発された商品もお目見えします。市内外の方にお楽しみいただけるアンテナショップをぜひご体感ください。



sagamix ※画像はイメージです。



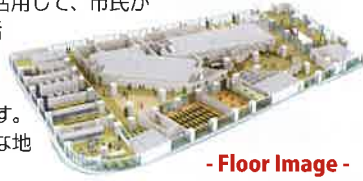
イタリア語で、「すばらしい、おいしい」などの意味を持つ「ポーノ」と「大野」をかけて「bono(ポーノ)」と付けられました。

日(土)にはJAZZイベントなどが盛んな相模大野らしく、日本を代表する世界的ジャズ・トランペット奏者を招き、華やかなライブでまちびらきをお祝いします。

市民と大学を繋ぐユニコムプラザさがみはら

bono 相模大野の公共施設の一つとして、南棟3階にはユニコムプラザさがみはら(市民・大学交流センター)が、オープンします。大学の高度な専門性や豊富な人材を活用して、市民が様々な分野で地域の課題解決や活性化を図る拠点となります。

3月15日～17日にはオープニングイベントも企画されています。ユニコムプラザから始まる新たな地域・市民活動にご注目ください。



- Floor Image -

さがみ縦貫道路「相模原愛川IC」が3月OPEN

圏央道の一部として、神奈川県中央部を南北に走る大動脈「さがみ縦貫道路」の「相模原愛川IC」がいよいよ3月にOPENします。南北に走るさがみ縦貫道路は来年度には全線開通予定で、関越自動車道、中央自動車道、東名高速道路を繋ぎ、広域交流拠点としての今後が期待されます。現在、市ではOPENに先がけてのイベントも準備中。なかでも、相模川にかかる橋を埋め尽くすよさこいパレードは開通イベントとしては全国初！見ものですよ！！



圏央道の開通で!! 企業に選ばれるまち、相模原 国内最大級のマルチテナント型物流施設「ロジポート相模原」誕生

米系不動産投資会社のラサール不動産投資顧問と大手不動産会社の三菱地所は共同で、約94,000㎡の敷地に東京ドーム4.5個分の広さに相当する延床面積約210,000㎡の国内最大級となる物流施設「ロジポート相模原」を建設中。『ロジポート相模原は圏央道「相模原愛川IC」の完成により、首都圏と西日本の結節点となるだけでなく、首都圏広域をもカバーする戦略的物流拠点となり「進化する物流拠点最適地」として、選ばれた場所とのことです。

圏央道以外にも4車線道路の国道129号線に面し、国道16号線にも約4kmという主要幹線へのアクセスの良さが抜群です。また、「橋本」「相模原」「淵野辺」「上溝」のJR各線各駅とはバス路線で結ばれており、周辺に広大な住宅エリアを擁する雇用環境も揃っているという点は入居企業にとって大きなメリットになることでしょう。

また「(仮称)ロジポート橋本」の建設も決定。アクセスがますます向上する相模原市は企業に選ばれるまち、住む人にも選ばれるまちとして進化を遂げていきます。



潤水都市さがみはら NEWSLETTER バックナンバーは <http://pr.city.sagamihara.kanagawa.jp/> からご覧いただけます。 情報提供は「相模原市シティセールス推進課」まで TEL 042-707-7045 FAX 042-815-2340

互版せしねんぶ

発行／(社)相模原法人会青年部会
〒252-0236 中央区富士見6-13-16
TEL 042-755-3027
FAX 042-753-3273
URL <http://www.sagamiharahojinkai.or.jp>
MAIL seinen@sagamiharahojinkai.or.jp
発行責任者／小方雄大(青年部会長)
編集責任者／高瀬健一(総務広報委員長)

青年部会設立30周年記念事業を開催

平成24年9月17日(月・祝)

「未来への挑戦30」と題し、相模大野中央公園でプチフェスを開催しました。

昨年はお陰様をもちまして青年部会設立30周年を迎え盛大に講演会、式典、イベントを開催することが出来ました。青年部会を代表しまして組織委員会一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

私達、組織委員会は今回の事業、30周年講演会、相模大野中央公園のイベント、式典のうちイベントを担当することになり当初はイベントの企画立案からはじまり、当時委員長でおられた渡邊委員長の下、副委員長としてスタッフ皆で何度となく委員会を重ね協議したものでした。その企画した案を全体役員会議に上程すると取り下げられ、再び白紙状態からアイデアを出し合う時期もありました。その後、事業の主導も各委員会から実行委員会が立ち上がり全て運営が移管し一元され、林実行委員長の下、青年部会員一同が一致団結してそれぞれの役割を担いました。渡邊委員長はご卒業されましたがイベント終了まで実行委員会に在籍して頂きながら青年部会員一同が一致団結してそれぞれの役割を担いました。一方、組織委員会は私が委員長となり、委員会メンバー皆で再スタートとなりました。

公園イベント(プチフェス)は約1年企画協議を重ね準備し当日まで天気も不安材料でしたが何より委員会メンバーも委員会回数を重ねるごとに出席者が減り、公園のイベントということもあり、準備から実行まで委員会の垣根を超え青年部会全現役・OBメンバーの方にもご協力をお願いし結果的に

は無事成功に終わったことに安心しました。

これまでは特にイベント事業で総括に渡邊直前委員長、ステージ・出演者関係に霜鳥副委員長(プチフェスの名付け親)、飲食店・出演団体関係等に牧副委員長、会場動線配置等に野口委員、講演会等に中本委員、風船等準備に三橋委員、渡邊委員、菊池委員、山本委員、他委員をはじめボランティアの学生さんには本当に言葉には表せない程のご協力を頂き、委員会メンバーとすると当然かも知れませんが愚痴一つ言わず準備をして頂きました。中には仕事の合間を縫って、準備に来てくれた事本当に助かりました。略儀ながらこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。

振り返りますとイベント終了した丁度一年前は最初に計画の為集まりこれについて協議した委員会の時期で時間の早さと年月を感じました。

私は20周年、30周年事業に携わりましたがギリギリ40周年の時はOBとなってしまうのですが、30周年事業が40周年を考えると未来の委員会に少しでも一助となれば幸いです。

最後に皆様方には多大なるご意見、ご助言を頂き、皆様と共に私自身も勉強になり学び、良い経験となりましたことに心より感謝申し上げます結びとさせていただきます。

組織委員会委員長 平賀周一



イベントのフィナーレを飾るバルーンセレモニー
たくさんの風船が空高く放たれました。



野外ステージでは、ダンスや歌などで楽しみました。



飲食ブースでは、多くの人たちで賑わいました。

青年部会設立30周年記念 特別講演

平成24年9月17日(月・祝)

グリーンホール相模大野で東北楽天イーグルス名誉監督 野村克也氏による「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」講演会を開催しました。

●野村克也氏による講演会
「勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし」



今回、この周年事業を構築してく上で、部会員個々が成長し地元企業が活性化し、地域社会が発展するきっかけとなるような周年事業とは何か、また先輩諸氏から受け継いだ青年部会の歴史を振り返り、未来に継承しなければならない事は何かと考え、この一年半、部会員と共に試行錯誤してきました。時には遅々として先に進まないこともありましたが、

青年部会OBの皆様には、多々ご心配をお掛けしたかと思いますが、去る9月17日に未来への挑戦30〜もっと考えよう！地域のこと！税のこと！〜設立30周年記念事業は無事に成功をおさめました。これも青年部会員の協力、また当会の稲場会長はじめ青年部会OBの皆様からのご指導、多大なるご支援を受け賜りました結果であると思っています。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

記念事業では、東北楽天ゴールデンイーグルス名誉監督野村克也氏特別講演会、約1,800名の来場者を迎えて、球界の裏話や人材育成、組織を強くする方法など、私たちの企業経営にも繋がるご講演をいただき、90分の予定時間をオーバーしてしまう程の大盛況でした。また、講演後も控室では、たくさんのお話を一時間余りもいただきました。野村名誉監督はとても気さくで、おしゃべりが大好きな紳士な印象が今でも鮮明に残っています。また機会があれば講演会を開催してみたいですね。そしてイベントのフィナーレを飾る約2,000個の風船に市民の皆様と一緒に想いを詰め込み、大空へリリースする、バルーンセレモニーを開催いたしました。大空へ舞い上がる、風船の姿はとても美しく幻想的に映りました。きっと皆さんの未来への想いは届いたと信じます。頼りない実行委員長ではありましたが、本当に皆様のご協力に感謝いたします。それでは40周年に向けて新たな気持ちで、相模原法人会青年部会として出来る事を考え歩いていきたいと思います。 実行委員長 林 大介

今回相模原市と相模原自治会連合会の暖かいご支持を頂き、定員をはるかに超える3000名以上の応募があり主催者としたしましても感謝申し上げますと共に、ご招待できなかった多くの皆様には大変申し訳なく思っております事、この場をお借りいたしましたお詫び申し上げます。

また多くの協賛金にご協力して頂きました理事・幹事・OB、OG・地域企業のみならず、法人会とは全く関係がなく声をかけさせていただき気持ちよく協賛金にご協力いただきました方々、そんな皆様のご協力のお蔭でこのような盛大な催し物が出来たことにも大変感謝しております。

さて今回のイベントは相模原法人会青年部会設立30周年事業といたしまして企画させて頂きましたが、通常であれば講演会、式典で終わるところをあえて今回の企画をさせて頂きました。

講演会は全国組織で有ります法人会というものをもっと一般の方々に広く知って頂きたく、知名度が高くそして「みんなが聞いてみたい」そんな話が出来方を検討した結果、野村克也氏をお招きし開催させて頂きました。本人も講演会の中で何度も「なんでわしを呼んだんだ！」と壇上で何度も連呼しておりましたが、まさにその話が聞きたいのです。話の内容はほとんど野球の話でしたが会場に来られた方々の多くはその独特の語り調子の「野村節」を楽しみに来られたのだと思います。「楽しかった」と言って会場を後にされる方々を見送ると苦勞しながらもこの事業をやってよかったと思います。公益社団法人相模原法人会として今後いろんな催し物やイベント、貢献事業、研修会や医療講座などが各地区で行われますので是非ともお誘いの上ご参加頂ければ、会員同士の交流が深まり法人会に入っている意味とメリットがなんとなく理解できると思います。最後に、この事業に関わった全ての皆様へ感謝を述べさせて頂き挨拶とさせて頂きます有難うございました。

部会長 小方雄大

青年部会設立30周年記念 記念式典

平成24年9月26日(水)

ホテルラポール千寿閣において、設立30周年記念式典を開催しました。

講演会

テーマ
「東日本大震災に伴う救援活動について」

講師 自衛隊神奈川地方協力本部 相模原地域事務所長
3等陸佐 熊谷 耕造 氏



記念式典

小方部会長あいさつ



祝賀会

ご来賓の小池副市長の祝辞



相模原法人会青年部会 30周年記念事業を終えて

相模原法人会青年部会設立30周年記念式典にご出席下さった、来賓の方々、親会の方々、県内外の法人会青年部会の方々、市内各青年団体の方々、会場の千寿閣とスタッフの方々、そして当日の講演の講師を務めて頂きました熊谷耕造氏に感謝と御礼を申し上げます。

式典に先駆け、相模大野で行われた30周年イベントに関わった全ての方々にも感謝申し上げます。

平成24年9月26日(水)ホテルラポール千寿閣において青年部会設立30周年記念式典を開催致しました。当日は相模原市及び相模原税務署そして税務協力団体及び関係諸団体、また県内外の法人会青年部会65名の来賓にご臨席賜り、当会理事及び女性部会、青年部会OBの49名、青年部会30名の出席により盛大に挙行されました。

第1部の講演会では、自衛隊3等陸佐の熊谷氏による講演を開催、第2部の式典では、ご来賓の祝辞を頂戴し、歴代部会長へ感謝状を贈呈しました。第3部会の祝賀会では、先に行われた、野村克也氏の講演会や中央公園で行われたバルーンフェスティバル等の模様を上映し、終始和やかに終了しました。

式典の方を担当させて頂きました自分の反省点は、壇上

で話しをする際にはスーツのボタンをきちんと留めると指摘頂いた点です。問題点は当の青年部会員で当日の欠席者が数人出たのですが、その者が何の連絡も入れずに出席しなかった点です。食事もあり、会費も発生しています。

もっと出欠の確認を確実にし、止むを得ず欠席する際には連絡を入れることを周知徹底しておけばよかったと後悔しました。

また、青年部会員は自分を含め挨拶の練習をしておくべきでした。やはり30周年事業としての緊張感から必要以上にあがってしまい、式典のお客様に対して聞き苦しい点があった事にはその場でお詫びしなければならなかったのではないかと反省しています。

良かったと思っている点は、他の県内外の法人会青年部会の方や商工会青年部の方達もお呼びしての二次会を設定しておいた事です。当初の予想以上の方々に参加して頂き、懇親会からの流れで皆さん楽しんで頂いた事と思います。

最後に、実行委員長の林さんを筆頭に30周年事業に御尽力下さった皆さんお疲れ様でした。

研修委員会委員長 佐藤俊太郎

署長を囲む座談会

10月22日(月)
相模原法人会会議室

恒例の青年部会と女性部会合同事業、署長を囲む座談会が10月22日に行なわれ、青年部会から8名の参加がありました。



相模原税務署署長 芹口慶秀氏の講演テーマ「相続よもやま話」はとてもためになるお話を聞くことができました。税務署長のお話を聞く機会はなかなかないのでこのような座談会を多くの会員に参加していただきたいと思います。

座談会の後は、交流会が行なわれ税務署、正副会長、理事、女性部会、青年部会でいろいろな話をし、親交を深めることができました。

このようなすばらしい会が続けられるように、青年部会研修委員会もなお一層がんばっていききたいと思います。座談会開催に際し、ご尽力いただいた税務署の方、女性部会の方にはこの場を借りて御礼申し上げます。

研修委員会委員長 佐藤俊太郎

第19回チャリティゴルフ大会

10月15日(月)
相模原ゴルフクラブ

相模原商工会議所との共催では第10回目になる大会が相模原ゴルフクラブで開催いたしました。秋の心地よい気候の中気持ちよくプレーすることができました。さらに他団体の会員さんとの交流も深めることができ、とても有意義なゴルフ大会と感じました。



相模原法人会からは48名の参加をしていただきありがとうございました。

チャリティ寄附も法人会からは24,000円の寄附が集まり、社会福祉協議会及び、東日本大震災被災地への義援金として相模原市を通じて大船渡市へ寄附いたしました。今大会は事故もなく無事成功に終わりましたが来年はもう少し周知徹底を図り参加者が増えるように努力していききたいと思います。会員の皆様のご協力よろしく申し上げます。

社会貢献委員会委員長 渡邊 茂

第26回法人会全国青年の集い

11月1日~2日
宮崎県

平成24年11月2日、九州、火の国宮崎県で全国法人会青年部会「青年の集い」が開催されました。「新価値創造」～復興から未来へ。今、見せよう。日本の底力～。をテーマに今回も全国より2000人を超える青年部会のメンバーが集まり「租税教育活動」のプレゼンテーションや現在の法人会活動の在り方、そして会員拡大と今後の展望などの意見交換がされました。

また記念講演会にはワタミグループ創設者の渡邊 美樹氏に『夢をカタチに！新価値創造への挑戦』をテーマに講演をしていただきました。

宮崎県には有名なゴルフ場が多数あり、メイン会場となりましたシーガイアコンベンションセンター周辺にもフェニックスやトム・ワトソンゴルフ場などが在り、会議の翌日にはほぼ貸切り状態で青年部会員とも交流を図り、大いにリフレッシュをさせて頂きました。25年度は広島大会となりますので是非とも新しい仲間とともに参加したいと思いますので、皆様のご子孫を青年部会に入会させていただきますよう宜しくお願い致します。

部会長 小方雄大

新年会

1月27日(日)
ジョイサウンド相模原店

昨年10月下旬頃、小方部会長より新年会の企画をしてほしいと話がありました。色々企画を考えた上で委員会を開催しようとして案を練り、当初は徐々にイタリアンガーデンさんでお餅つきをと全体役員会議で複数案の中、決定しました。ところが会場と日程が合わず白紙に戻って再度企画した結果、今回の新しい企画で開催する運びとなりました。部会員全体の出席も然ることながら家族会のイメージを中心に日時等決まりました。また、出席率を上げようとビンゴを企画し予算の中で景品も従来より多く取揃え皆様をお待ちしておりました。出席者数は予想を下回りましたが出席された方の顔を見て嬉しかったです。最後にご出席された部会員をはじめ最後までご出席の調整して頂いたOBや部会員の方々、場を盛り上げて頂いた霜鳥副委員長をはじめ組織委員会のメンバーには大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

組織委員会委員長 平賀周一

新しい仲間

①会社名 ②業種 ③支部地区 ④座右の銘 ⑤ひとことPR

伊藤 由樹



- ①株式会社相模工業
- ②建造物解体業
- ③大野北支部 共和第2地区

相模原で建造物解体業を営んでおります。40歳を過ぎてから、法人会青年部という新たな活動を始めるにあたり、少し緊張感を感じながら入会させて頂きました。活動の中で今の自分から少しでも成長できれと思っております。ご指導よろしくお願い致します。

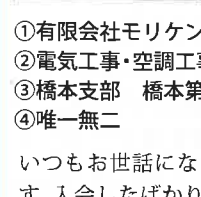
田辺 徳雄



- ①有限会社田辺化成
- ②塗料・塗装副資材販売・塗り替えアドバイザー
- ③大野北支部 淵野辺第2地区
- ④正義は勝つ

様々な業種の方々とネットワークを築き知識を高め社会に貢献できるよう自分を高めたいと思っております。よろしく申し上げます。

森 義治



- ①有限会社モリケン
- ②電気工事・空調工事・冷媒回収業
- ③橋本支部 橋本第1地区
- ④唯一無二

いつもお世話になりありがとうございます。入会したばかりでなにもわからない事が多々あり、ご迷惑をおかけしてしまっていますが今後とも、ご指導を宜しくお願い致します。

復興特別所得税の源泉徴収について
〈平成25年1月以降の源泉徴収〉

平成23年12月2日に東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)が公布されました。

これにより、所得税の源泉徴収義務者は、平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間に生ずる所得について源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税を併せて徴収し、源泉所得税の法定納期限までに、その復興特別所得税を源泉所得税と併せて国に納付しなければならないこととされました。

(注) 租税条約の規定により、所得税法及び租税特別措置法に規定する税率以下の限度税率が適用される場合には、復興特別所得税は課されません。

1. 源泉徴収すべき所得税及び復興特別所得税の額

源泉徴収すべき復興特別所得税の額は、源泉徴収すべき所得税の額の2.1%相当額とされており、復興特別所得税は、所得税の源泉徴収の際に併せて源泉徴収することとされています。

実際には、次のとおり、源泉徴収の対象となる支払金額等に対して、所得税と復興特別所得税の合計税率を乗じて計算した金額を徴収し、1枚の所得税徴収高計算書(納付書)で納付します。

(注) 給与等に係る所得税及び復興特別所得税の源泉徴収については次の2により行います。

〔源泉徴収すべき所得税及び復興特別所得税の額〕

$$\text{支払金額等} \times \text{合計税率}(\%)^{(*)} = \text{源泉徴収すべき所得税及び復興特別所得税の額}^{(注)}$$

(注) 算出した所得税及び復興特別所得税の額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てます。

※1 合計税率の計算式 $\text{合計税率}(\%) = \text{所得税率}(\%) \times 102.1\%$

※2 所得税率に応じた合計税率の例

所得税率(%)	5	7	10	15	16	18	20
合計税率(%) (所得税率(%)×102.1%)	5.105	7.147	10.21	15.315	16.336	18.378	20.42

※3 具体的事例：報酬・料金として888,888円を支払った場合(所得税率10%の場合)

$$888,888 \text{ 円} \times 10.21\% = 90,755.4648 \text{ 円} (\text{1円未満切捨て}) \rightarrow 90,755 \text{ 円}$$

(支払金額) (合計税率) (算出税額) (源泉徴収税額)

2. 給与等に係る所得税及び復興特別所得税の源泉徴収

給与等については、平成25年分以後の源泉徴収税額表に基づき、所得税と復興特別所得税の合計額を徴収し、1枚の所得税徴収高計算書(納付書)で納付します。

(注) 平成25年分以後の源泉徴収税額表は、国税庁ホームページに掲載しています。

3. 年末調整

給与等から源泉徴収する税額は、所得税と復興特別所得税の合計額となっておりますので、年末調整も所得税と復興特別所得税の合計額で行います。

平成25年度 国税専門官募集のご案内

国税専門官は、国税局や税務署において、税のスペシャリストとして法律・経済・会計等の専門知識を駆使し、国税調査官、国税徴収官、国税査察官といった職種に分かれて活躍しています。

受験資格

- 昭和58年4月2日～平成4年4月1日生まれの者
- 平成4年4月2日以降生まれの者で、次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び平成26年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

申込方法

【インターネット申込】人事院ホームページ上の申込専用アドレス(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>)をご利用ください(インターネット申込用受験案内のPDFファイルを入手できます。)

【郵送又は持参による申込(※インターネット申込ができない場合のみ)】最寄りの国税局、沖縄国税事務所、人事院地方事務局又は人事院沖縄事務所にて受験申込書を請求してください(下の受験申込書の請求方法を参照)。なお、受験申込書は、希望する第1次試験地を所轄する国税局又は沖縄国税事務所へ、できるだけ郵送(簡易書留)で提出してください。

※さらに詳しくお知りになりたい方は、最寄りの国税局の人事第二課(沖縄国税事務所は人事課)までお問い合わせください。

受験申込受付期間

【インターネット申込】平成25年4月1日(月)午前9時～4月11日(木)(受信有効)
【郵送又は持参による申込(※インターネット申込ができない場合のみ)】平成25年4月1日(月)～4月2日(火)(4月2日(火)までの通信日付印有効)
※郵送又は持参による受付期間は短いので注意してください。なお、申込先へ持参する場合の受付時間は午前9時から午後5時までです。

第1次試験

【試験日】平成25年6月9日(日)
【合格発表日】平成25年7月2日(火)

第2次試験

【試験日】平成25年7月16日(火)～7月23日(火)のうち指定する日時
【最終合格発表日】平成25年8月21日(水)